

平成 29 年 佐世保市観光動向

1. 総括

平成 29 年は、全国的に見ると、訪日外国人観光客数が 2,869 万人（対前年比 19.3%増）と 5 年連続で過去最高を更新するなど、インバウンドが活況を呈した年となった。

九州におけるインバウンドについては、熊本地震の影響を受けた平成 28 年の状況を踏まえ、九州観光推進機構や九州各県等が連携しながら観光客誘致関連の事業などに取り組んだ結果、観光庁宿泊統計によると、訪日外国人延べ宿泊者数については、九州 7 県で 751.5 万人（対前年比 31.4%増）、うち長崎県は 81.4 万人（対前年比 12.2%増）であった。（九州では、福岡県・大分県に次いで三番目）

長崎県内の主な動向を見ると、九州ふっこう割の反動減や多客時の台風接近などの影響を受けたものの、県内宿泊施設のリニューアルオープンやゴールデンウィークの日並びの良さなどから、特に第 2 四半期（4～6 月）が好調に推移し、全体として延べ宿泊者数は対前年比 2.9%の増、主要観光施設の利用者数は 4.2%の増となった。

佐世保市の平成 29 年（1～12 月）の観光客の総数は、5,886,301 人（前年比 103.2%、18 万人増）で、内訳は、日帰り客数 4,215,201 人（対前年比 3.6%増）、宿泊客数 1,671,100 人（対前年比 2.2%増）であった。週末や行楽シーズンなど多客時の天候不良の影響等も見られたが、熊本地震の影響を受けた平成 28 年からは、総じて回復基調に転じている。

また、大型クルーズ船については、84 隻（前年比 131.2%、20 隻増）の寄港があり、乗客数 10.3 万人、乗員数 3.6 万人、合わせて 13.9 万人（前年比 125.2%、2.8 万人増）が訪れるなど順調に推移するとともに、展海峰や九十九島動植物園など、寄港地観光コースに組み込まれた施設も来場者が増加した。

九十九島の認知度向上を目的とした九十九島 PR 事業や二つの日本遺産、世界遺産候補（黒島の集落）、食に関する素材など、本市の魅力ある観光資源に関する情報発信や、関係団体等と連携した観光客誘致などの取り組みが奏功し、過去最高を記録した平成 27 年（592 万人）には届かなかったものの、日帰り客数・宿泊客数ともに前年を上回る結果となった。

平成 29 年 観光客数	5,886,301 人 (前年比 3.2%増 180,713 人増) (観光客延数 7,774,721 人)
平成 29 年 宿泊観光客数	1,671,100 人 (前年比 2.2%増 36,000 人増) (宿泊客延滞在数 3,559,520 人)
平成 29 年 日帰り観光客数	4,215,201 人 (前年比 3.6%増 144,713 人増)

2. 主要観光施設等の動向

注意：各観光施設単独の数値であり、観光統計上の「地区別数値」とは一致していない場合がある。

(1) ハウステンボス

「全国イルミネーションランキング総合エンターテイメント部門」で5年連続1位を受賞している「光の王国」の新たなコンテンツとして、壁面を巨大スクリーンにした日本最大110mの「パレスハウステンボス3Dプロジェクションマッピング」が加わった。その他、場内コンテンツの充実の結果、来場者満足度向上が図れたものの、多客期である週末の天候不良やピーク時の12月において、前年に比して連休が減少した事による影響で、入場者減となった。

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	合計
H29	196,000	174,600	316,700	219,500	282,600	142,600	212,000	350,800	196,500	205,000	240,800	283,500	2,820,600
H28	201,400	205,900	347,700	209,600	207,600	116,900	200,500	376,000	215,000	223,000	233,600	332,600	2,869,800
前年比	97.3 %	84.8 %	91.1 %	104.7 %	136.1 %	122.0 %	105.7 %	93.3 %	91.4 %	91.9 %	103.1 %	85.2 %	98.3 %

(2) 九十九島パールシーリゾート

5月から6月末にかけて、プール改修工事と自然繁殖のためイルカ不在となったため、水族館利用者は減少したものの、遊覧船利用者が、特に団体利用、ツアー、旅行会社からの送客により増加した。9～12月は、海外からの団体客利用は増加していたが、国内個人、団体客減少のため前年割れとなった。全体としては前年並みの数字となっている。

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	合計
H29	39,465	39,268	66,619	48,495	73,466	41,615	73,199	123,708	56,533	59,174	49,049	36,808	707,399
H28	33,438	39,825	66,305	45,483	68,727	38,111	69,366	122,879	60,080	64,139	53,682	45,021	707,056
前年比	118.0 %	98.6 %	100.5 %	106.6 %	106.9 %	109.2 %	105.5 %	100.7 %	94.1 %	92.3 %	91.4 %	81.8 %	100.0 %

(3) 九十九島動植物園「森きらら」

2月、4月、6月の利用客増加は、大型クルーズ船入港による外国人客の団体利用増加によるもの。9月はクルーズ船寄港、お客さま感謝ウィーク(9/1～9/14)によるもの。10月は台風の影響による団体キャンセル、12月は週末の悪天候により、前年を下回った。(週末雨天日 H28: 1日、H29: 3日)

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	合計
H29	10,399	13,804	25,596	29,921	36,294	12,715	11,599	22,360	18,746	16,134	14,047	7,511	219,126
H28	9,646	9,204	21,504	19,496	34,221	7,788	14,148	18,979	14,412	20,159	14,046	8,896	192,499
前年比	107.8 %	150.0 %	119.0 %	153.5 %	106.1 %	163.3 %	82.0 %	117.8 %	130.1 %	80.0 %	100.0 %	84.4 %	113.8 %

(4) えぼし岳高原リゾートスポーツの里

ほぼ前年並みに推移したが、10月の利用数減少と11月の増加は、青少年の天地で通常10月開催のイベントが11月開催になったため、10月の集客が11月に動いたことによる。

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	合計
H29	4,400	4,400	10,300	19,900	19,900	7,200	11,600	20,200	13,300	11,000	11,000	5,000	138,200
H28	4,700	4,600	10,400	18,000	16,300	7,100	14,500	22,700	11,800	14,200	8,600	5,900	138,800
前年比	93.6 %	95.7 %	99.0 %	110.6 %	122.1 %	101.4 %	80.0 %	89.0 %	112.7 %	77.5 %	127.9 %	84.7 %	99.6 %

(5) 海上自衛隊佐世保史料館（セイルタワー）

繁忙期と閑散期は、ほぼ前年同様の推移だが、8月、9月、10月の減少が影響し、前年に比して入場者減となった。

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	合計
H29	2,961	4,462	6,083	4,283	6,957	4,804	6,218	7,900	4,826	6,665	6,489	4,146	65,794
H28	2,762	5,460	7,355	4,191	6,760	4,487	6,118	9,220	6,653	7,450	7,201	3,992	71,649
前年比	107.2 %	81.7 %	82.7 %	102.2 %	102.9 %	107.1 %	101.6 %	85.7 %	72.5 %	89.5 %	90.1 %	103.9 %	91.8 %

(6) 弓張岳

前年を大きく落としている原因は、6月～8月のクルーズ客船のツアーバス立ち寄り減少、10月の台風等悪天候、12月連休日の縮小及び週末の悪天候の影響等が考えられる。5月の増加の要因は、ゴールデンウィークの日並びのよさからのものと考えられる。

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	合計
H29	6,464	5,823	7,528	6,530	10,393	6,376	5,977	8,826	6,573	5,831	6,787	4,324	81,432
H28	4,963	5,007	7,581	7,178	8,108	7,979	7,679	11,449	6,386	7,287	7,057	5,659	86,333
前年比	130.2 %	116.3 %	99.3 %	91.0 %	128.2 %	79.9 %	77.8 %	77.1 %	102.9 %	80.0 %	96.2 %	76.4 %	94.3 %

(7) 西海橋

4月の増加は、昨年より桜の開花が遅れ、4月になったため。また、9月は大型クルーズ船の外国人観光客が3回来訪したこと、フリーマーケットの開催による集客（約4,000人）のためと考えられる。

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	合計
H29	28,263	29,061	43,845	91,247	67,653	32,946	26,136	28,329	37,635	32,817	33,972	30,021	481,925
H28	24,927	27,621	48,399	72,909	59,121	28,374	28,476	29,481	30,357	34,893	38,217	33,474	456,249
前年比	113.4 %	105.2 %	90.6 %	125.2 %	114.4 %	116.1 %	91.8 %	96.1 %	124.0 %	94.1 %	88.9 %	89.7 %	105.6 %

3. イベント集客数

させぼシーサイドイベントフェスティバルは、2日目の台風接近により一部イベントが中止になったため、特に市外客が減少した。YOSAKOIさせぼ祭りは、台風接近により2日目夕刻から中止となったため全体の集客数（観客）が減少した。

全体としては、悪天候によるアメリカンフェスティバル中止の影響が大きかった。但し、市外客だけを見ると、特にきらきらフェスティバルの健闘により、前年を越える結果となった。

（主なイベント集客状況等）

イベント名	開催日	市外客数			全体客数		
		H29	H28	前年比	H29	H28	前年比
九十九島かき食うカキ祭り（冬の陣）	2月の土日	12,980	14,490	89.6 %	24,500	30,000	81.7 %
みかわち焼窯元はまぜん祭り※	5月1～5日	(9,690)	(7,395)	131.0 %	(15,000)	(15,000)	100.0 %
させぼシーサイドフェスティバル2017	8月5～6日	62,720	74,520	84.2 %	280,000	276,000	101.4 %
江迎千灯籠まつり	8月23～24日	14,064	13,760	102.2 %	48,000	40,000	120.0 %
アメリカンフェスティバル2017	9月16～17日	—	19,440	—	—	72,000	—
佐世保JAZZ	9月6日～10月9日	3,699	3,980	92.9 %	9,000	10,000	90.0 %
みかわち陶器市※	10月5～9日	(11,400)	(10,973)	103.9 %	(19,000)	(18,536)	102.5 %
第20回YOSAKOIさせぼ祭り	10月20～22日	60,816	62,750	96.9 %	168,000	250,000	67.2 %
九十九島かき食うカキ祭り（秋の陣）	11月の土日	10,990	10,960	100.3 %	25,500	27,200	93.8 %
きらきらフェスティバル in SASEBO vol.22	11月16日～12月.25日	153,150	112,130	136.6 %	528,350	509,700	103.7 %
合計		318,419	312,030	102.0 %	1,083,350	1,214,900	89.2 %

※イベントの集客数は、各イベントの主催者が発表する来場者数に、平成29年佐世保地区観光実態調査（アンケート調査）に基づく市外からの観光客の率を乗じて算出している。

※三川内はまぜん祭り、陶器市の数は、イベントに算入していない（三川内に含む）。

4. 外国人宿泊者数

海外客の宿泊者数は、重点エリアである台湾、韓国、香港、中国を中心に 137,735 人（前年比 115.5%、18,468 人増）と前年を超え、回復傾向にあるものの、平成 27 年の水準まではまだ戻っていない。

	台湾	韓国	香港	タイ	中国	アメリカ	その他	全体
平成29年	62,738	20,570	12,177	3,037	7,586	14,641	16,986	137,735
平成28年比	59,800	16,837	11,016	4,155	6,669	15,757	5,033	119,267
	104.9%	122.2%	110.5%	73.1%	113.8%	92.9%	337.5%	115.5%
平成27年比	2,938	3,733	1,161	-1,118	917	-1,116	11,953	18,468
	92,096	19,552	18,713	5,084	5,303	10,293	7,472	158,513
	68.1%	105.2%	65.1%	59.7%	143.1%	142.2%	227.3%	86.9%
	-29,358	1,018	-6,536	-2,047	2,283	4,348	9,514	-20,778

5. 修学旅行宿泊者数

中学校は、関西地区（兵庫県、大阪府、京都府、奈良県、滋賀県、和歌山県）・広島県の 7 県で約 7,200 名の増加となった。高校は、新潟県、三重県、愛知県など増加した県があったものの、これまで受け入れが多かった関東地区及び石川県、岐阜県、静岡県など中部地区の県が減少した。小学校、高校で減少したものの、中学校が大幅に増加し全体として前年並みとなった。

	学校別	人数	合計	前年比
平成29年	小学校	15,103	65,630	100.3%
	中学校	16,652		
	高校	33,811		
	その他	64		
平成28年	小学校	18,343	65,463	111.5%
	中学校	8,588		
	高校	36,167		
	その他	2,365		

6. 合併地区の動向

鹿町地区の観光客数が大幅に増加しているのは、前年に熊本地震の影響を受け観光客が大幅に減少した、長串山つつじまつり（4月上旬～5月上旬）の集客が例年並みに回復したものと見込まれる。

地区名	人数	前年比
世知原地区	157,457	101.2% (1,791)
小佐々地区	24,251	85.6% (-4,084)
宇久地区	12,660	105.1% (610)
鹿町地区	37,617	130.6% (8,822)
江迎地区	23,304	102.4% (551)

○江迎千灯籠まつり（13,760人）は「イベント」に算入、当該「江迎地区」には算入していない。

○吉井地区は、国の観光地点の共通基準に該当する施設がないため記載なし。

【合併地区動向の状況】

平成20年観光統計から合算：平成17年4月1日付、世知原町・吉井町と合併／平成18年3月31日付で小佐々町・宇久町と合併。

平成22年観光統計から合算：平成22年3月31日付、江迎町・鹿町町と合併。